

広報

# Daigo Town

Public Relations  
Magazine

# だいご

花と緑と若者の住む 互いに支え合う心豊かなまち



## .....主な内容.....

平成25年度予算概要	2
黒沢中学校閉校特集	6
特色ある教育の創造	8
ニュースだいご	9
保健コーナー	10
フォトだいご	12

「僕たち、私たち、1年生になったよ!」(黒沢小学校入学式)



No.657

2013

May

5

■発行／大子町役場 総務課

■〒319-3526

茨城県久慈郡大子町大字大子866番地

Tel／0295-72-1111(代)／0295-72-1114(直通)

Fax／0295-72-1167

E-mail／soumu@town.daigo.ibaraki.jp

<http://www.town.daigo.ibaraki.jp/>

※「広報だいご」が今月号から新しくなりました。詳しくは、12ページを御覧ください。

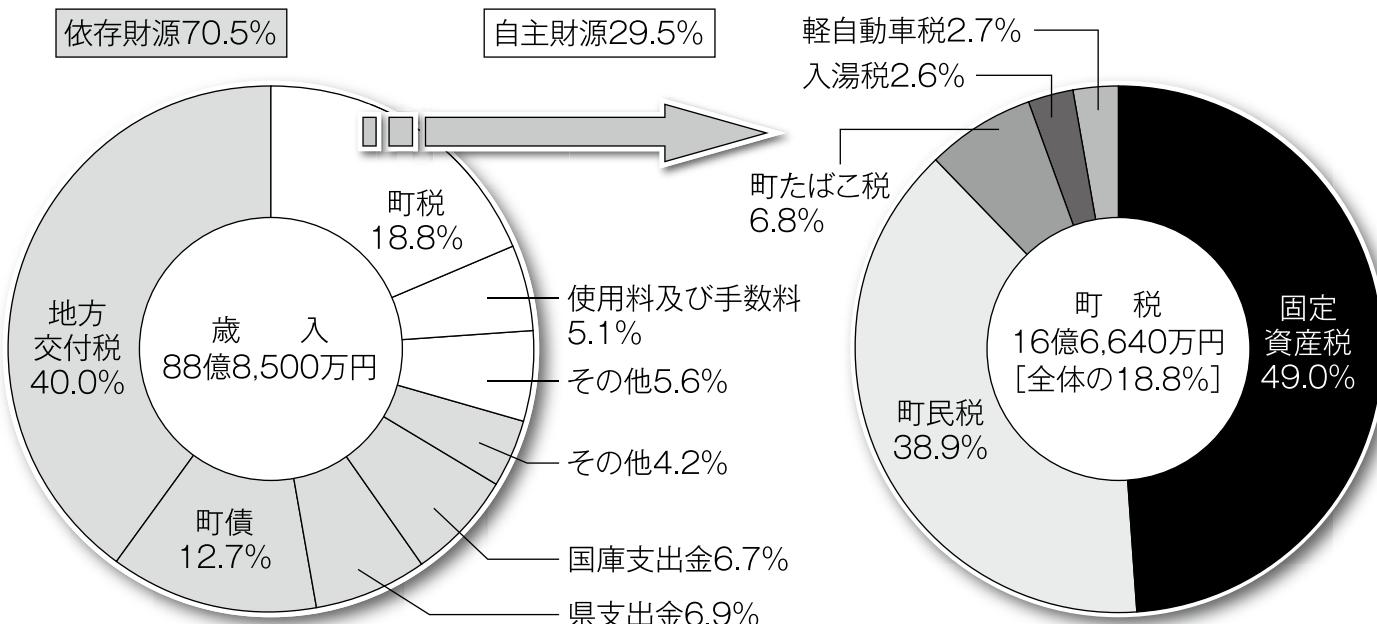
# 平成25年度一般会計

本町の財政状況については、中期的な財政収支見通しにおいては行財政改革の推進による人件費や公債費等の抑制が進んでいるものの、社会保障関連の扶助費の負担、国民健康保険事業特別会計等への繰出金の増加が見込まれ引き続いて厳しい財政状況にあります。

平成25年度の当初予算は、「安全・安心のまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」、「活力あるまちづくり」、「豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり」を推進し、「ふるさとに誇りを持ち お互いが支え合い助け合いがある町づくり」を目指し、事務事業の優先度、緊急度などを勘案して効率的な予算配分に努めました。

厳しい財政状況ではありますが、多様化する行政需要に的確に対応し、町民の目線に立ったまちづくりを推進してまいります。

## 一般会計歳入の概要



項 目	予 算 額	説 明
依 存 財 源	62億6,913万円	国や県の意思によって定められた額を交付される財源
地 方 交 付 税	35億5,800万円	地域間の税源格差を調整し、一定水準の行政サービスを確保するために国から交付されるお金
町 債	11億2,750万円	国・銀行などからの借入金で、その返済期間が多年度となるもの
県 支 出 金	6億1,174万円	特定の事業をするための経費に充てるため、県から交付されるお金
国 庫 支 出 金	5億9,849万円	特定の事業をするための経費に充てるため、国から交付されるお金
そ の 他	3億7,340万円	地方消費税交付金、自動車取得税交付金など
自 主 財 源	26億1,587万円	町が自らの権限で収入することができる財源
町 税	16億6,640万円	町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税、入湯税など皆さんに納めていただくお金
使 用 料 及 び 手 数 料	4億4,888万円	町営住宅の家賃、住民票の交付手数料など施設を利用したときなどに納めていただくお金
継 越 金	1億円	前年度から繰り越したお金
分担金及び負担金	6,048万円	保育料など特定の人たちが利益を受ける事業を町が行う場合、その人たちに負担していただくお金
継 入 金	1億4,600万円	基金(家計でいう貯金)などから一般会計に繰り入れるお金
諸 収 入	1億6,942万円	フォレスバ大子やグリンヴィラの売店等の売上金、収集用ごみ袋売払代等
そ の 他	2,469万円	土地貸付料、不動産売払収入などの財産収入、寄附金など
合 计	88億8,500万円	

# 予算88.85億円の概要

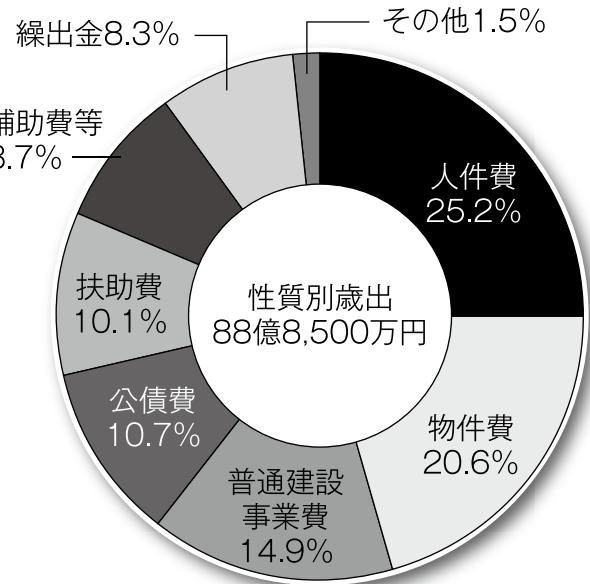
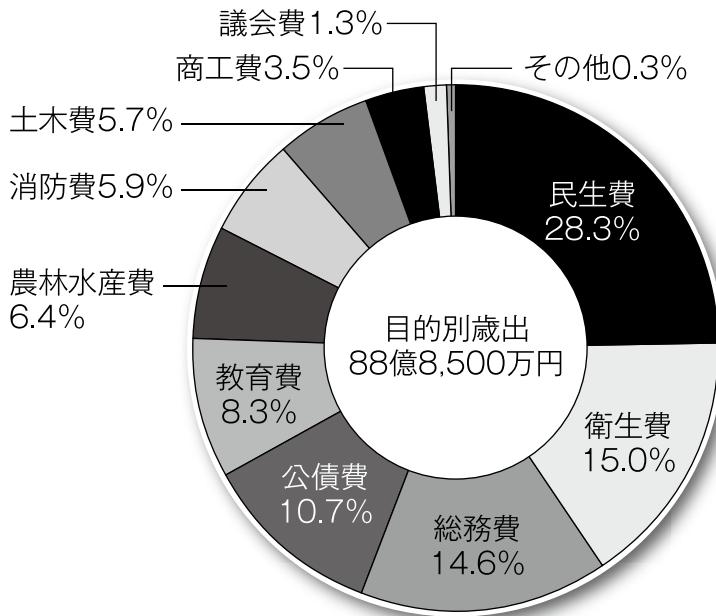
全会計

151億3,827万3千円

○一般会計伸び率 6.9%

○全会計伸び率 6.0%

## 一般会計歳出の概要



項目	予算額	説明
民生費	25億1,207万円	福祉、医療、保育所などに使われるお金
衛生費	13億3,135万円	保健衛生、環境衛生、ごみ・し尿処理などに使われるお金
総務費	12億9,651万円	総務、徴税、住民基本台帳管理、統計調査、選挙などに使われるお金
公債費	9億5,214万円	国・銀行などから借り入れたお金の返済金
教育費	7億4,276万円	教育委員会、小学校、中学校、幼稚園、社会教育、給食センターなどに使われるお金
農林水産業費	5億6,644万円	農林業・畜産の振興、地籍調査、農林道の整備などに使われるお金
消防費	5億2,177万円	消防署、消防団、消防施設、災害対策などに使われるお金
土木費	5億0,342万円	道路、橋、河川整備、町営住宅整備などに使われるお金
商工費	3億1,549万円	商工業、観光の振興などに使われるお金
議会費	1億1,751万円	議員への報酬、議会運営に使われるお金
その他	2,554万円	基金への積立金など
合計	88億8,500万円	

項目	予算額	説明
人件費	22億4,264万円	町長ほか職員の給与、議員の報酬、非常勤の特別職(消防団員など)の報酬に使われるお金
物件費	18億3,221万円	公共施設の管理運営費、各種事業における消耗品費、賃金、交際費、使用料などに使われるお金
普通建設事業費	13億2,808万円	学校などの公共施設の建設事業、道路など生活基盤整備に使われるお金
公債費	9億5,214万円	国・銀行などから借り入れたお金の返済金
扶助費	8億9,872万円	社会保障制度の一環として、児童、高齢者、障がい者などを援助するために使われるお金
補助費等	7億6,987万円	団体運営、事業などに対する補助金、負担金、建物や自動車の保険料などに使われるお金
繰出金	7億3,618万円	国民健康保険事業・介護保険などの特別会計に対して支払うお金
維持補修費	8,570万円	施設の維持補修に使われるお金
その他	3,946万円	基金への積立金など
合計	88億8,500万円	

## 特別会計・企業会計

特別会計	予算額	伸び率
国民健康保険事業	28億7,524万円	2.7%
後期高齢者医療	2億4,163万円	4.4%
介護保険	22億7,337万円	10.2%
介護サービス事業	1,809万円	45.2%

企業会計	予算額	伸び率
浄化槽整備事業	1億0,742万円	△3.8%
水道事業	7億3,753万円	△2.9%

※特別会計とは、特定の事業を行う場合又は特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置しているものです。  
※企業会計とは、当該事業に係る経費を主に使用料などの収入でまかなって住民サービスを提供するための特別会計です。

# 町民1人当たりに使われるお金

合計 451,405円

民生費



127,626円

公債費



48,374円

総務費



65,870円

教育費



37,736円

衛生費



67,640円

土木費



25,576円

農林水産業費



28,778円

消防費



26,509円

商工費



16,028円

その他

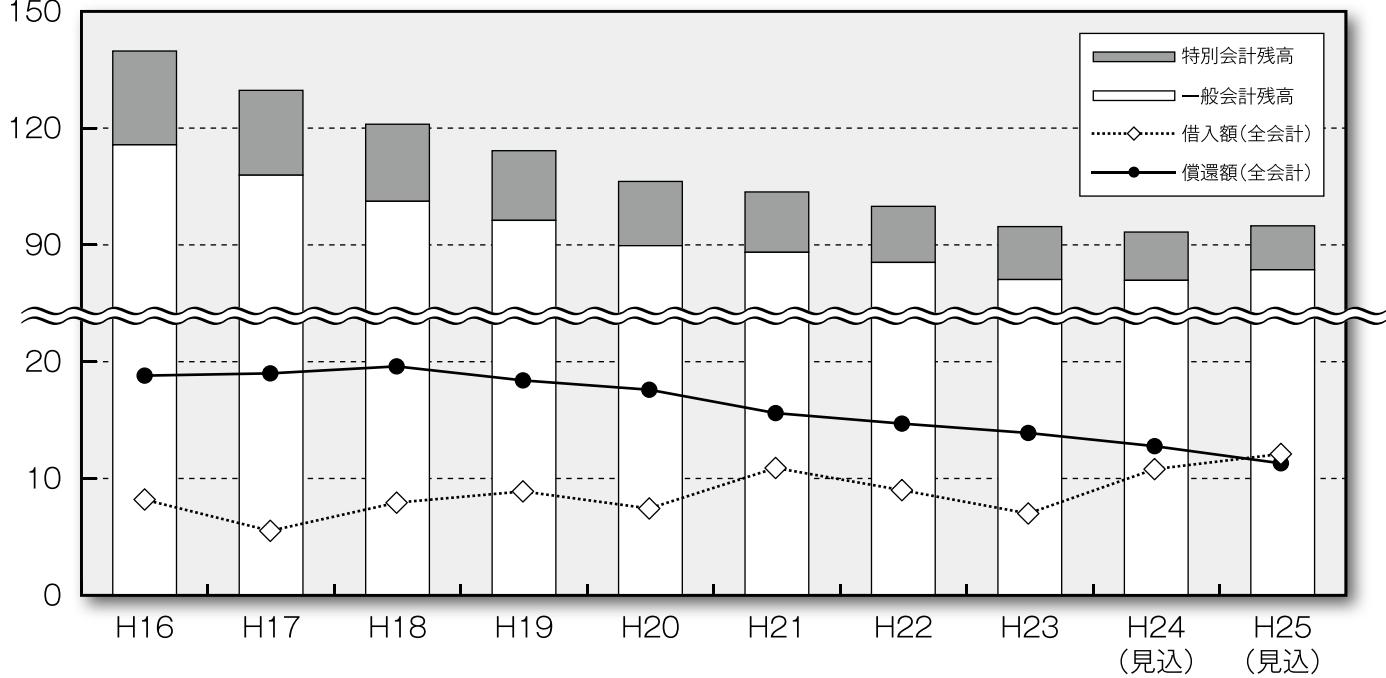


7,268円

※一般会計目的別予算と4月1日現在の人口19,683人で算出しました。

## 全会計における町債に係る残高等の推移

億円



(単位: 億円)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24(見込)	H25(見込)
残高	一般会計	115.7	107.9	101.2	96.3	89.8	88.1	85.5	81.1	80.9
	特別会計	24.1	21.8	19.8	17.9	16.5	15.5	14.4	13.6	12.4
高	計	139.8	129.7	121.0	114.2	106.3	103.6	99.9	94.7	93.3
	償還額	18.8	19.0	19.6	18.4	17.6	15.6	14.7	13.9	12.8
	借入額	8.3	5.5	7.9	8.9	7.4	10.9	9.0	7.0	10.8

※ 特別会計…水道、浄化槽。 ※ 借入額には借換えによるものは含めていません。 ※ 債還額には利子も含まれています。

# 平成25年度主な予定事業

## 安全・安心のまちづくり

- 町民のみなさんが安心して暮らせるように、防災対策を強化し、安全の確保のための事業に取り組みます。

・コミュニティFM放送施設の整備	2億2,958万6千円
・太陽光発電設備の設置(文化福祉社会館)	5,121万7千円
・防火水槽整備事業	1,273万円
・「地域防災計画」の製本及びダイジェスト版の送付	86万9千円

## 安心して暮らせるまちづくり

- 高齢者等に対する福祉の向上、子育て世代への支援、廃棄物処理施設の整備等、安心できる暮らしのための事業に取り組みます。

・緊急通報体制整備事業	267万3千円
・高齢者健康づくり事業	188万6千円
・子育て世帯住宅建設等助成事業	1,300万円
・放課後児童クラブ事業	1,277万円
・放課後子ども教室事業	1,616万9千円
・廃棄物処理施設整備事業	5億3,684万円
・国民健康保険被保険者の特定健康診査個人負担金無料化	300万円

## 活力あるまちづくり

- 観光・農林業の発展と、町民参加によるまちづくりに取り組みます。

・町民発想地域づくり助成事業	265万7千円
・地区行政懇談会	10万5千円
・屋台に係る文化財等調査事業	103万5千円
・中心市街地活性化基本構想策定業務委託事業	215万3千円
・観光SLシャトルバス(常陸大子駅～袋田の滝)運行事業	371万5千円
・大子町農畜産物ブランド化推進事業	25万7千円
・花木果樹産地形成事業(耕作放棄地の利活用)	50万円
・森林機能緊急回復整備事業	7,136万4千円

## 豊かな人間性と子どもたちの学力を伸ばすまちづくり

- 学校教育の充実と教育環境の整備のための事業に取り組みます。

・筑波大学との連携による学力向上推進事業	298万1千円
・スクールバス運行業務委託事業	6,073万5千円
・教育ネットワーク構築事業	1,211万9千円

# ありがとう黒沢中学校

昭和22年の開校以来、輝かしい伝統を築き上ってきた黒沢中学校が66年という長い歴史に幕を下ろしました。

地域の教育の場として、そして、心のよりどころとして愛されてきた黒沢中学校は、近年、急速な少子化の影響を受け、生徒数の減少が深刻さを増しました。合併の話題が持ち上がる中で「母校がなくなる」「地域から学校がなくなる」ことへの不安や悲しみは、計り知れないほど大きなものであったに違いありません。

しかし、未来を担う子どもたちに、たくさんの友達とより充実した学校教育を受けることができる環境を整えてあげたいという強い思いが地域全体を動かし、次のステージへの扉を開きました。

黒沢中学校での思い出を胸に、最後の卒業生はそれぞれが選んだ進路で、在校生は大子中学校での新しい生活をスタートしました。これからはたくさんの友達と一緒に、素晴らしい思い出をたくさん作ってください。

## 黒沢中学校の沿革

昭和22年	新学制により黒沢村立黒沢中学校設立。
昭和24年	黒沢中学校父母と先生の会(PTA)設立。
昭和26年	新校舎竣工。
昭和27年	施設優良校として文部大臣表彰受賞。
昭和30年	町村合併により大子町立黒沢中学校と改称。 講堂新築。
昭和34年	校旗制定。
昭和35年	八溝山清掃始まる。
昭和40年	校歌制定。
昭和41年	学研全国表彰受賞。
昭和49年	校地拡張工事竣工。
昭和53年	ムカシトンボ研究でソニー賞、 理科研究最優秀賞受賞。
昭和54年	八溝山清掃で県知事賞、県観光協会長賞受賞。



昭和55年	ムカシトンボ研究でソニー理科教育優秀賞、 日本学生科学賞優秀賞受賞。
昭和56年	体育館新築竣工。
昭和63年	プール完成。
平成3年	八溝山清掃で 県教育長賞受賞。
平成4年	梅林(春待園)完成。
平成9年	全国野生生物保護実績発表大会 文部大臣奨励賞受賞。
平成21年	八溝山清掃で農林水産大臣賞受賞。
平成23年	八溝山清掃で環境大臣賞受賞。
平成24年	臨時PTA総会(閉校に関する総会)開催。 閉校記念事業実行委員会発足。
平成25年	閉校記念式典。記念誌発刊。記念碑建立。



# 最後の卒業生13人による黒沢中学校の思い出

## 石崎 澤佳 (いしざき れいか)

黒沢中では、みんな小学校からのメンバーだったこともあり、全校生徒が兄弟のよう、とても仲良く、楽しい毎日でした。私にとって黒沢中は、学びの場でもあり、もう一つの家のような温かい場所でもありました。

閉校してしまうのは悲しいですが、建物はこれからもずっと残ってほしいです。



## 佐藤 直之 (さとう なおゆき)

黒沢中では、たくさんの良い思い出を作ることができた。

体育祭では、夏の暑い中の練習で、小学生との交流ができ、団結することができた。

宿泊学習、修学旅行では、仲間との友情が深まった。

他にもさまざまなことがあり、決して忘れないと思う。



## 佐藤 奈津希 (さとう なつき)

## 佐藤 奈津希 (さとう なつき)

私たち黒沢中生は、人数はとても少ないですが、一年生から三年生まで壁が無く、一緒にいるのがとても楽しかったです。これは黒沢中だからこそ良いところだと思います。こんな黒沢中学校の生徒でいられたことを嬉しく思います。

## 長山 拓海 (ながやま たくみ)

黒沢中学校での思い出は数えきれないほどあり、私の心をいっぱいに埋め尽くす。

一つは体育祭です。自分たちが中心となった黒沢中最後の体育祭は最高でした。

## 鈴木 勇人 (すずき ゆうと)

私の黒沢中での思い出は二つあります。

一つは体育祭です。自分たちが中心となった黒沢中最後の体育祭は最高でした。

二つ目は修学旅行です。友達と一緒に、奈良、京都の名所を訪れた時間は、今でも忘れられません。

## 佐藤 大倫 (さとう ひろみち)

黒沢中学校を卒業できてよかったです。本当にそう思う。小学校のときから一緒の友達と、体育祭や秋香祭、音楽会などの行事を成功させることができたから。母校が無くなってしまうのは残念だし、悲しいことだけだ、黒沢中学校での思い出は大切にしていきたい。

卒業を前にする今、黒沢中には本当に感謝している。ありがとう。



## 益子 広幸 (ましこ ひろゆき)

私は、黒沢中で二つ学んだことがあります。一つは、元気よく挨拶することです。元気な挨拶は、相手との自然なコミュニケーションがとれます。

もう一つは礼儀です。相手の話をよく聞くことなどを学びました。

この二つのことを生かしていきたいです。

## 藤田 貴大 (ふじた たかひろ)

私は、この三年間、黒沢中学校でたくさんの思い出ができました。体育祭、秋香祭。その一つ一つがとても大切な宝物です。もう学校にいられなくなると思うと、とても寂しい気持ちでいっぱいです。この木造校舎で過ごした思い出は、一生忘れません。

ありがとう、さようなら、黒沢中学校。



## 益子 莉奈 (ましこ りな)

黒沢中での思い出は、体育祭と音楽会です。

体育祭は、生徒数の少ない中で行われましたが、常に、みんな全力でやっていました。

町の音楽会では、練習を頑張り、とてもいい合唱にすることことができました。

黒沢中での思い出はどれもいいもので、三年間充実した生活が送されました。

## 益子 幸輝 (ましこ こうき)

私は、この三年間でたくさん思い出ができました。

その中で一番心に残ったのは、修学旅行です。中学三年のとき、初めて行った京都や奈良はとても楽しかったです。中でも奈良の大仏はとても大きくてすごかったです。

黒中は、とてもいい学校でした。



## 益子 朋久 (ましこ ともひさ)

この黒沢中学校で心に残ったことは数多くありますが、一番は八溝山清掃です。一見きれいに見える八溝山も、歩いてみると、たくさんごみがあつたり、また、たくさんの動植物がいたり、そしてとても疲れたことなど、いろいろなことがあります。大変楽しかったです。



## 松浦 日菜 (まつうら ひな)

私は、黒沢中学校でたくさん思い出を作りました。

小中合同体育祭や、秋香祭など、どの行事も黒沢中らしさがふんだんにあり、とても楽しかったです。そして、木造校舎で過ごした大切な仲間、先生との三年間は、絶対に忘れません。黒沢中、ありがとうございます。



## 黒沢中学校校歌

岡村 英 作詞  
岩井清志 作曲

- 青雲なびく 八溝嶺の永遠なる姿 望みつつ  
音さやかにも 流れゆく せせらぎ清き 八溝川  
たゆまぬ心 つちかひて 真理の道を 窮めゆく  
若人われらむつみて学ぶ 黒沢中学校
- 歴史に著るし 獅子ヶ城 いにしへ花と 咲き薫る  
遺せし偉業 たすねてぞ 行く手を照らす 鏡とし  
力を協せ 手をとりて 文化の花を 咲かすべし  
若人われら鍛へて励む 黒沢中学校
- 野の幸満ちて 人和する 平和の里に はぐくまる  
心を磨き 身を修め 清く気高く 伸びゆきて  
雄々しく進み 一筋に 正義を愛す 人たらん  
若人われら希望は高し 黒沢中学校

## 卒業生徒数の推移(単位:人)

昭和22年4月15日創立

年度	人 数						
昭和22年	30	昭和39年	141	昭和56年	61	平成10年	20
昭和23年	52	昭和40年	134	昭和57年	55	平成11年	23
昭和24年	124	昭和41年	132	昭和58年	41	平成12年	29
昭和25年	113	昭和42年	130	昭和59年	45	平成13年	24
昭和26年	124	昭和43年	131	昭和60年	29	平成14年	31
昭和27年	139	昭和44年	128	昭和61年	28	平成15年	19
昭和28年	98	昭和45年	107	昭和62年	34	平成16年	30
昭和29年	101	昭和46年	121	昭和63年	35	平成17年	18
昭和30年	144	昭和47年	126	平成元年	36	平成18年	16
昭和31年	134	昭和48年	98	平成2年	20	平成19年	15
昭和32年	121	昭和49年	96	平成3年	38	平成20年	17
昭和33年	133	昭和50年	92	平成4年	33	平成21年	17
昭和34年	99	昭和51年	84	平成5年	29	平成22年	21
昭和35年	72	昭和52年	87	平成6年	23	平成23年	10
昭和36年	115	昭和53年	87	平成7年	30	平成24年	13
昭和37年	158	昭和54年	85	平成8年	27		
昭和38年	129	昭和55年	67	平成9年	29		

○○○○ 大子町 特色ある教育の創造 ○○○○

## 今年度の取組を振り返って

～総括会議を開催しました～

筑波大学との連携・協力推進事業

「筑波大学との連携・協力推進事業」において、今年度も数多くの事業に取り組みました。39事業実施し、筑波大学側から、約260名の教授や附属学校教員及び学生が、大子町側から、約1,500名の児童生徒や教職員が関わることができました。事業参加者数は年々増加しており、事業の拡充を実感しています。

2月21、22日には、毎年開催している「総括会議」を開催しました。大学側から東副学長にも参加いただき、有意義な協議の場となりました。各校からの実践報告や協議を通して、今年の大きな成果として、「児童生徒が直接関わる事業が充実した。」という声をたくさん聞くことができました。筑波大学附属聴覚特別支援学校の児童が大子町を来訪したり、大子町の中学生が筑波大学を訪問したりと、お互いに関わったり直接見聞きしたりする経験が、子どもたちの興味や関心を刺激し、大きな学びの場になることを改めて実感しました。

また、大学側からも、「附属学校の先生方や学生にとっても大きなメリットがある。」という評価をいただきました。大子町だからこそできる教育活動の中で、「普段はできない様々な経験をして、いろいろな気付きがある。」と言っていただきました。

平成25年度も互いにとって価値ある事業の拡充に努めて参ります。



様子を大子町教育ポータルサイト  
<http://www.daigo.ed.jp/>

で紹介しています。是非、ご覧下さい。

大子町ならではの  
特色ある教育の創造

3つの事業の問い合わせ  
大子町教育委員会  
☎79-0170

## \* \* \* \* \* 新農業委員紹介 \* \* \* \* \*

任期満了に伴い、大子町農業委員会委員の改選が行われ、新しい委員が決まりました。選挙による委員(公選)15名、町議会、農業協同組合及び土地改良区の推薦により町長が選任した委員(選任)5名の計20名です。

任期は、平成25年3月31日から平成28年3月30日までの3年間で、農家の代表として町の農業行政に携わり、地域農業の振興に関する仕事をします。

■ 問合せ 農業委員会事務局 ☎72-1457



会長 菊池 洋一郎さん

選出		氏名	住所	選出		氏名	住所
公選	第1選挙区	藤田幸美	塙	公選	第2選挙区	益子孝幸	大生瀬
		菊池文夫	田野沢		第3選挙区	石井甲子男	頃藤
		高信修一	左貫			塙正比古	盛金
		武士忠造	浅川			菊池源修	頃藤
		古内達男	初原			石井誠一郎	池田
	第2選挙区	益子文雄	矢田		選任	町議会推薦	藤田深
		富田千代松	下野宮			○菊池洋一郎	町付
		大藤猛	小生瀬			○根本和一	袋田
		星洋治	北吉沢		農業協同組合	肥高恒男	袋田
		岡田栄	上郷			大高精一	矢田
					土地改良区		



## 高齢者大学卒業式

3月18日に、まいん観光交流ホールで「第45回大子町高齢者大学卒業式」が挙行され、各地区から推薦を受け、一年間にわたり全12回講義を受講された40人の皆さん一人一人に、学長の益子町長から卒業証書が手渡されました。

卒業生代表の益子常夫さん（高柴）は謝辞の中で「一年間を通して学んだことを、今後は地域で生かしていきたい。」と述べました。



## 辞令の交付

3月21日に、役場町長室で辞令交付式が行われ、神賀美紀さん（頃藤）に教育委員会委員の辞令が益子町長から交付されました。

任期は平成25年3月21日から平成29年3月20日までの3年間で、神賀委員は2期目となります。



## 交通安全帽子の寄贈

3月15日に、「新入学児童用交通安全帽子」の贈呈式が行われ、JA茨城みどり柏盛幸代表理事組合長から都筑教育長へ手渡されました。

新入学児童向けの黄色い帽子は、その視認性の高さから、上下校時における児童の安全確保に大きく貢献しています。



## 日本消防協会定例表彰受章

2月26日に、日本消防会館（東京都港区）で「第65回日本消防協会定例表彰式」が行われ、消防の使命達成に尽力してこられた次の方々（団体）が受章されました。当日、頃藤婦人防火クラブ消防隊の斎藤路代さんが、20人の受章者を代表して、日本消防協会会長より、功績章を受けとりました。

後日、町長室にて益子町長に受章の報告が行われました。



優良消防団（竿頭綬）	大子町消防団
優良婦人消防隊員（功績章）	頃藤婦人防火クラブ消防隊 斎 藤 路 代さん
精績章	大子町消防団 副団長 柴 田 修さん

## 民生委員児童委員の変更について

3月1日から、次のとおり委嘱されました。

担当区域 北富田全域

盛金全域（大内野を除く）

新委員 小野瀬 昭三

民生委員児童委員は、それぞれの地域において、住民や子どもたちの立場に立って相談に応じたり、必要な支援を行ったりするなど社会福祉の増進に努める方々です。

■問合せ 福祉課 ☎ 72-1117

こころ、元気であがむ



# 保健コーナー



## ◆ 最近身近な人にこんな様子はありませんか？

- 以前と比べて表情が暗く、元気がない。
- 体調不良の訴え（身体の痛みや倦怠感）が多くなる。
- 仕事や家事の能率が低下し、ミスが増える。
- 周囲との交流を避けるようになる。
- 遅刻、早退、欠勤（欠席）が増加する。
- 趣味やスポーツを楽しんだり、外出をしなくなる。
- 飲酒量が増える。

## ◆ 最近こんなことが続いていませんか？

- これまで楽しんでやっていたことが楽しめなくなった。
- 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる。
- 自分が役に立つ人間だと思えない。
- わけもなく疲れたような感じがする。
- 毎日の生活に充実感がない。
- 寝つきが悪い。眠れない。



## ひょっとしたらそれは「うつ病」かもしれません

こころと体の不調が長く続き、日常生活に支障をきたしてしまう状態が「うつ病」です。心身の疲れが解消されないまま許容量を超えたために、こころと体が悲鳴をあげてしまうのです。

うつ病に陥ると、絶望感や孤独感にさいなまれ、生きようとする意欲やエネルギーが乏しくなるため自殺願望を抱きやすくなります。

## うつ病は誰にでも発症し得る病気です

…うつ病は、人間関係、病気、過労、失敗、生活苦、子育て、老化など身近な悩み・ストレスが要因です。



## こころのつらさが表面化しないこともあります

…人によっては体の不調がめだち、こころの症状（気分の落ち込みなど）が陰に隠れていることもあります。

## 休養するだけでは治りません

…もちろん休養も必要ですが、適切な治療を受けずに休んでいるだけではなかなかよくなりません。

## 早期発見、早期治療が大切です

…相談するのは恥ずかしい、医療機関を受診するのは大げさではないかとためらうのは病気を悪化させるもとになります。

## 家族や周囲の支えが大切な人の命を守ります

こころの病を抱えている人は、様々なサインを発しています。家族や周囲の人は、まずはそのサインに気づき、声をかけ、悩みを打ち明けるきっかけを作ってあげることが大切です。

また、必要に応じて医療機関等への受診を促すことで、適切な治療を受けることができます。

うつ病の早期発見、自殺を未然に防ぐためには、家族や周囲の支えが不可欠です。



## 家族や周囲の人ができること

### ◎ 手伝えることは手伝ってあげる

むやみに世話を焼いてあげるのではなく、力になりたいという意思を伝え、本人の希望を聞きながら助けるようにします。

### ◎ 助言や干渉は控え、聞き役に徹する

やる気を出してもらおうと励ましたりせず、本人の気持ちや悩みを傾聴し、つらい気持ちを受け止めましょう。

### ◎ 薬の服用や通院を支援する

こころの病は治療には長い期間を要します。途中で治療をやめてしまうと、またスタートから出直しになってしまいます。医師の指示どおり、薬の服用と通院を続けられるよう見守りましょう。

### ◎ 医療機関等への受診を促す

最近では積極的に医療機関等を受診する人が増えています。しかし、治療を必要としているながら、受診に至っていない人がまだ多い状況です。受診に同行するなどして、受診を促してあげることが必要です。

## 保健センターではこころの相談を行っています

精神保健福祉士、保健師が担当しています。

日程については広報等で、お知らせしていますが、詳しくは電話でお問い合わせください。☎ 72-6611

# 2013 カレンダー

## 5 May



皐月

日付	行事名	場所	時間	対象者	問合せ
1日(水)	心配ごと相談	(文)	13:00~15:00	一般	(協)
	第2回大子ふるさと博覧会(5日まで)		10:00~16:00	一般	(企)
2日(木)					
3日(金)	憲法記念日				
4日(土)	みどりの日				
5日(日)	こどもの日				
6日(月)	振替休日				
7日(火)	お知らせ版5月号発行				
	定期健康相談	(保)	13:30~15:00	一般	(健)
	消費者相談	(企)	9:00~16:00	一般	(企)
8日(水)	飲用井戸水水質検査受付	(保)	10:00~11:00	一般	(健)
9日(木)					
10日(金)					
11日(土)					
12日(日)					
13日(月)	健康教室	(文)	13:30~15:00	一般	(健)
14日(火)	定期健康相談	(保)	13:30~15:00	一般	(健)
	消費者相談	(企)	9:00~16:00	一般	(企)
15日(水)	心配ごと相談	(文)	13:00~15:00	一般	(協)
16日(木)					
17日(金)	巡回労働相談	(庁)	10:00~14:30	一般	(企)
18日(土)	常陸国YOSAKOI祭り				
19日(日)	常陸国YOSAKOI祭り				
20日(月)	広報だいご6月号発行				
21日(火)	一日年金事務所(出張年金相談)	(分)	10:00~14:00	要予約	(民)
	定期健康相談	(保)	13:30~15:00	一般	(健)
	消費者相談	(企)	9:00~16:00	一般	(企)
22日(水)					
23日(木)					
24日(金)	就職支援出張相談	(公)	10:00~15:00	一般	(企)
25日(土)					
26日(日)					
27日(月)	健康教室	(文)	13:30~15:00	一般	(健)
	こころの相談	(保)	13:00~16:00	要予約	(健)
28日(火)	定期健康相談	(保)	13:30~15:00	一般	(健)
	消費者相談	(企)	9:00~16:00	一般	(企)
29日(水)					
30日(木)					
31日(金)					

\*事業によっては、12:00~13:00が昼休みとなります。あらかじめ御了承ください。  
※主な行事等を掲載しましたが、日時等が変更となる場合もあります。

## 連絡先

④中央公民館	72-1148
①リフレッシュセンター	72-1149
②保健センター	72-6611
③役場庁議室	
④役場第1会議室	
⑤役場第1分室会議室	
総務課	72-1114
企画課	72-1138
市民課	72-1112
福祉課	72-1117
健康増進課	72-6611
地域包括支援センター	72-1175
生涯学習課	72-1148
消防本部	72-0119
社会福祉協議会	72-2005
文化福祉会館	72-2005
水道課	72-2221
環境センター	72-3042
衛生センター	72-3076

## ○ 救急協力当番病院 ○

月 日	病院
4月 29日(月)~ 5月 5日(日)	慈泉堂病院
5月 6日(月)~ 12日(日)	保内郷メディカルクリニック
13日(月)~ 19日(日)	久保田病院
20日(月)~ 26日(日)	慈泉堂病院
27日(月)~ 6月 2日(日)	保内郷メディカルクリニック

慈泉堂病院 ☎72-1550  
 久保田病院 ☎72-0023  
 保内郷メディカルクリニック ☎72-0179

## 5月の納付のお知らせ

税務課 ☎72-1116

◆軽自動車税 全期分  
 納期限は5月31日(金)です。

## 延長窓口のお知らせ

毎週水曜日 午後7時まで

\*町民課 ☎72-1112 \*福祉課 ☎72-1117

\*税務課 ☎72-1116

取扱いができない業務もありますので御了承ください。  
 詳しくは各担当課に事前にお問い合わせください。

## 町の人口と世帯

(平成25年4月1日現在)

★人口	19,683人	(-78/-457)
男	9,677人	(-33/-238)
女	10,006人	(-45/-219)
★世帯数	7,632戸	(-15/-79)

(前月比/前年比)

# フォトだいご

力走

Photo Daigo



3月10日に、大子広域公園を発着とする「第46回奥久慈大子湯の里マラソン」が開催され、1,938人が参加し、春の大子路を駆け抜けました。

当日は気温が高かったため、マラソン競技には不向きな条件でしたが、選手の皆さんは全力を振り絞りゴールを目指しました。

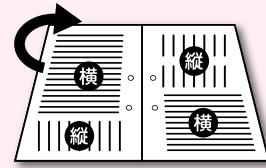
## 「広報だいご」リニューアルのお知らせ

「広報だいご」は、これまで「縦書き・右開き」を基本としていましたが、電話番号や料金、ホームページのアドレスなど、数字やアルファベットを掲載することが多くなっているため、ページによって横書きを使用するなど、統一感がありませんでした。

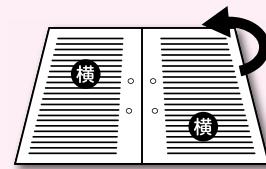
このような問題を解消するため、新しい「広報だいご」は、「横書き」のレイアウトを基本とし、開き方も「左開き」へ変更します。

慣れるまで御不便をお掛けしますが、御理解をお願いします。

従来



リニューアル後



※ 「広報だいご」に掲載されている写真を希望の方は、総務課 ☎ 72-1114まで御連絡ください。